ENDOSCOPIC FORUM for digestive disease 投稿規定（Vol. 40　No. 1 仮）

原稿が本投稿規定に合致することを確認の上，**各項目をチェック**し，**投稿規定を投稿論文に添付**して送付して下さい。投稿規定は最新のものを参照して下さい。

投稿論文

□　投稿論文は，ヘルシンキ宣言を遵守し，内視鏡に関するもので他誌に未発表のものであり，内視鏡学の進歩に寄与するものとします。

□　投稿論文は，個人情報の保護に充分配慮すること。写真や臨床検査および画像情報に含まれる番号など，直接個人の特定につながる情報の収載を避けること。また，日付，地域，他の受診医療機関および診療科など，他の情報と照合することで個人の特定可能な情報の収載についても充分留意すること。詳しくは，本学会の「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を参照のこと。

□　症例報告以外は倫理委員会で必ず承認を得たものとし，必ずその旨を提示することとします。

□　利益相反（Conflict of Interest: COI）については，本学会の「医学研究の利益相反に関する指針及び細則」を遵守したものとします。

投稿資格

□　投稿原稿の著者および共著者は原則として甲信越支部の日本消化器内視鏡学会会員に限ります。ただし，他支部の会員からの投稿も投稿料（1 万円）を支払えば可能とします。また，編集委員会で承認された場合には，それ以外の投稿（研修医，依頼原稿など）も認めることとします。

論文形式

	文字数	著者数	要旨	Key words	図表	英文要旨
原　著	12,000 字以内	規定なし	400 字以内	3〜5 語	15 点以内	250 words 程度
症　例	8,000 字以内	規定なし	400 字以内	3〜4 語	10 点以内	200 words 程度
短　報*	4,800 字以内	8 名以内	不要	3 語	6 点以内	180 words 以内
抄　録＋キー画像	1,000 字程度	規定なし	不要	不要	2 点以内	不要
総　説 / 経　験	12,000 字以内	規定なし	400 字以内	3〜5 語	15 点以内	250 words 程度

＊短報は症例報告に限ります

□　論文は**要旨―緒言―（対象―方法―成績）―考按―文献―表―図の説明―図―英文要旨の順に原稿**を構成して下さい**（結語は不要）**。抄録＋キー画像は，抄録のほかに図の説明（英文）を加えて下さい。

□　文字数は文献・図表・図の説明を含んだ計算とします（図表，写真は 1 点につき 400 字に相当。抄録＋キー画像は除く）。

□　原稿の最初に論文の表題・著者の所属・著者名・連絡先（日本語および英語）・見出し用の短い表題（20 字以内）およびキーワード（日本語および英語）を記して下さい。

□　要旨は研究の目的・成績・結論を簡潔に述べて下さい。略語や文献引用は要旨の中では避けて下さい。

□　**図の説明および表は原則英文とします。**図表は本文を読まずに理解できるようにして下さい。

□　英文要旨は規定字数以内にまとめて下さい。本文中の図表についても英文要旨中で簡潔に説明されていることがのぞましい。

□　英文要旨には，表題・所属機関および著者名の英文表記を付けて下さい。

□　学会発表論文はその旨本文の後に明記して下さい。

□　病理所見が重要な役割を果たす論文においては，病理所見の記述や病理診断の責任者である病理医を共著者とするか，あるいは謝辞の中にその名前を記載するなどの方法で，責任の所在を明確にして下さい。病理医の本学会正会員資格の有無は問わない。

□　略語を用いる場合は，初出の際に完全な用語を記載して下さい。ただし，**タイトルならびに要旨での使用可能な略語一覧（日本消化器内視鏡学会誌　投稿規定）**に掲げる略語については，初出時ならびにタイトル，要旨で使用可能とします。

□　外国語名（人名〈大文字表記〉，薬品名など）は原語のまま用い，日本語化しているものはカタカナとします。薬剤名はできるだけ一般名で記して下さい。

□　医学用語は，本学会用語委員会の定めた用語を用いること，また日本医学会の用語辞典に準ずることが望ましい。

□　文献検索に関しては検索の方法、検索に用いたキーワード、および検索期間を本文中に明記すること。

□　項目は次のような記号を用います。

I.……，1.……，A……，1）……，a……

□　図は Figure、表は Table とし、それぞれ、順に算用数字を付すこと。写真内の文字や矢印は画像データに記入して下さい。画像は論文データ（Word ファイル）には貼付しないこと。

□　原稿（Word A4 判 タテ 20×20 字），図（JPEG, PNG, TIFF, Power point，解像度 300dpi），表（Excel, Word）は，メールで送付してください。

文献の記載

□　文献は本文中に引用されたもののみをあげて下さい。本文中の引用箇所には肩番号を付して下さい。文献の書き方は次のように統一して下さい。

①文献は本文中に引用した順に配列して下さい。

②著者名は 3 名まで明記し，それ以上の場合は「ほか」または「et al」として下さい。

③引用・転載許諾が必要な場合は，著者の責任において投稿前に許諾を取得すること。

④引用文献の書き方は次のように統一して下さい。

◇雑誌の場合

引用番号）　著者名: 題名．雑誌名　発行西暦年号; 巻: 頁–頁.

例　1）　鈴木達彦，加藤勝章彦，関根　仁ほか: 食道・胃の悪性リンパ腫．胃と腸　1998; 33: 502–503.

2）　Lewin KJ, Ranchod M, Dorfman RF, et al: Lymphomas of the gastrointestinal tract: a study of 117 cases presenting with gastrointestinal disease. Cancer 1978; 42: 693–707.

◇単行本の場合

引用番号）　著者名: 書名．巻，版数，発行地，発行所，発行西暦年号; 頁–頁.

例　1）　三宅　博: 胆石症．第 2 版，東京，金原出版, 1970; 500–508.

2）　Bodey GP: Current status of chemotherapy in metastatic renal carcinoma. Cancer of the Genitourinary Tract, New York, Raven Press 1979; 67–72.

引用番号）　著者名: 論文題名．書名（編者名），版数，発行地，発行所，発行西暦年号; 頁–頁.

例　1）　幕内雅敏，長谷川博，山崎　晋ほか: 肝細胞癌の早期診断法．ウイルス肝炎から肝細胞癌へ（服部　信/編），第 2 版，東京，癌と化学療法社, 1982; 349–369.

2）　Popper H, Schaffer F: Chronic hepatitis toxonomic, etiologic, and therapeutic problem. In Progress in Liver Diseases（Popper H, Schaffer F, eds），2nd Ed, New York, Grune and Straton, 1976; 531–535.

論文の採否等

投稿論文の採否は編集会議で決定いたします。審査の結果，編集方針にしたがって原稿の加筆，削除，および一部書き直しなどをお願いすることがあります。

□　編集委員会の責任において多少字句の訂正をすることがありますので，予めご了承下さい。不採用の論文は速やかに返却いたします。

□　著者校正は原則として 1 回行います。

原稿送付

原稿は下記宛までメールでお送り下さい。

日本消化器内視鏡学会甲信越支部事務　ENDOSCOPIC FORUM 編集部

〒951-8566 新潟市中央区川岸町 2 丁目 15-3

新潟県立がんセンター新潟病院　消化器内科　塩路和彦・小林正明

TEL：025-266-5111　FAX：025-233-3849

E-mail：jges-kse@niigata-cc.jp

著者署名

初出自ならびにタイトルでの使用可能な略語一覧

AI	artificial intelligence	人工知能
AFP	alpha-fetoprotein	α-フェトプロテイン
APC	argon plasma coagulation/argon plasma coagulation therapy	アルゴンプラズマ凝固止血法/アルゴンプラズマ凝固法
BAE	balloon assisted endoscopy / balloon assisted endoscope	バルーン小腸内視鏡/バルーン内視鏡
BMI	body mass index	体重指数（肥満指数）
CA19-9	carbohydrate antigen19-9	糖鎖抗原 19-9
CEA	carcinoembryonic antigen	がん胎児性抗原
CS	colonoscopy	大腸内視鏡
CT	computed tomography	コンピュータ断層撮影
DNA	deoxyribonucleic acid	デオキシリボ核酸
EGD	esophagogastroduodenoscopy	上部消化管内視鏡
EIS	endoscopic injection sclerotherapy	内視鏡的硬化療法
ELISA	enzyme-linked immuno sorbent assay	酵素免疫測定法
EMR	endoscopic mucosal resection	内視鏡的粘膜切除術
ENBD	endoscopic nasobiliary drainage	内視鏡的経鼻胆道ドレナージ
EPBD	endoscopic papillary balloon dilation	内視鏡的乳頭バルーン拡張術
EPLBD	endoscopic papillary large balloon dilation	内視鏡的ラージバルーン拡張術
ERCP	Endoscopic retrograde cholangiopancreatography	内視鏡的逆行性胆管膵管造影
ESD	endoscopic submucosal dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EST	endoscopic sphincterotomy	内視鏡的乳頭括約筋切開術
EUS	endoscopic ultrasonography	超音波内視鏡検査
EUS-BD	EUS-guided biliary drainage	超音波内視鏡下胆道ドレナージ
EUS-FNA	endoscopic ultrasound guided fine needle aspiration	超音波内視鏡下穿刺吸引法
EVL	endoscopic variceal ligation	内視鏡的静脈瘤結紮術
GIST	gastrointestinal stromal tumor	消化管間質腫瘍
HE 染色	hematoxylin-eosin 染色	ヘマトキシリン・エオジン染色
HIV	human immunodeficiency virus	ヒト免疫不全ウィルス
IDUS	intraductal ultrasonography	管腔内超音波検査
LST	laterally spreading tumor	側方発育型腫瘍

MALT	mucosa-associated lymphoid tissue	
MRI	magnetic resonance imaging	核磁気共鳴画像法
mRNA	messenger ribonucleic acid	伝令 RNA
PAS 染色	periodic acid Schiff 染 色	過ヨウ素酸シッフ染色
PCR 法	polymerase chain reaction 法	ポリメラーゼ連鎖反応
PEG	percutaneous endoscopic gastrostomy	経皮内視鏡的胃瘻造設術
PET	positron emission tomography	ポジトロン断層法
POEM	peroral endoscopic myotomy	経口内視鏡的筋層切開術
QOL	quality of life	クオリティ・オブ・ライフ
RFA	radiofrequency ablation	ラジオ波焼灼療法
RNA	ribonucleic acid	リボ核酸
US	ultrasonography	超音波検査